がんばろう
南三陸町
復興第23号

南三陸マイタウン情報 月刊

発行所
マイタウン企画
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL（46）3069
後援：
志津川広報センター

「三陸復興道路」北上加速

南三陸道路第一トンネル
安全祈願祭

7月31日「国道45号南三陸道路1号トンネル工事」の安全祈願祭が、さんさん商店街の八幡川向かいのトンネル入り口で開催された。

午前10時30分の地鎮祭に合わせたかのように、商店街の方向から太鼓の音が聞こえてきた。イベントホールでは、太鼓演奏を待っている子供たちの姿があった。上の山神宮の工藤宮司が前田建設の工事安全と早期完成を、トンネル入口に於いて復興の祝詞と清めのお祓いを四隅に行った。

さんさん商店街で着工式を祝うかのような太鼓演奏

玉串奉典では、町長はじめリアスハイウエイ女性の会の鈴木会長や三陸道早期促進委員会の西城さんの顔もあった。

町長の挨拶では「志津川中学校に中心点を設置したことを思い出す。地権者の温かい御支援に感謝します。」と話し、共用開始が2年後となる事を伝えた。前田建設の執行役員の話しの中には「南三陸町の美しい町の景観に配慮したい」との言葉があった。

「トンネルが無事に開通し、農業・水産業・商業が再生し、一日も早い町の再建となる事を願う」と工藤宮司は語る。国土交通省の担当者は「被災者の方と向き合い工事をしている。前以上のすばらしい町になるように祈っている。」と話した。

工事の安全と早期開通を

連日の雨もやみ、会場までのぬかるみの道を多くの関係者が集まった。

夏だ！みんなで（南方仮設）

盆まつり

8月20日南方イオン跡地の仮設住宅空き地で、第1第2自治会やNPO法人、大綱商工振興会の協同主催により、今年も仮設で暮らす南三陸町町民が集まり「盆まつり」として行われ、多くの笑顔が溢れていた。当日に南方で暮らす知人から盆踊りへの誘いが来たので出かけてみた。

6時頃に会場に着くと「カラオケタイム」が始まっていた。男性がステージに立ち、石巻に来て紅白で長渕剛が歌った「ひとつになぁーて♪」カラオケで自慢の歌を披露

「ひとつ」を歌っていた。歌詞には「一つになって共に生きる」がある。離れていた二人が一つになる！と言う歌詞だが、「みんなが一つになって故郷に帰ろう」と聞こえる。

7時を過ぎるとあたりは暗くなって来た。提灯と特製の灯籠が会場を包んでくれた。メインイベントの「盆踊り」では、最初は恥ずかしがっていた観客も、一人二人と踊りの輪に加わり、輪が大きくなっていき、ゆかた姿の若い女の子たちも加わった。中央では、音楽に合わせて「太鼓」が敲かれる。昔懐かしい盆おどりが再現されたと思った。

ハッピ姿の女性の踊りの会も、盆おどりに華を添えてくれた。盆おどりはもとより、「トコヤッサイ」も披露してくれた。多くのプログラム出演や屋台の出店などがでることで登米市民と南三陸町民の、交流の架け橋となっていた。

手造り屋台も大盛況
子供連れの家族も大喜び

現在の仮設での大変な暮らしや、みなし仮設での生活から自己再建へと進む方々も多く、諸々の事情の中での苦しみを忘れられる一時となった。

ポストくんおかえり（フラガールと一緒に踊る）

歌津復興夏まつり

今年の歌津の夏まつりは、多くのイベント・企画により、被災地「南三陸町歌津」として、歌津郵便局のポストが、人と人を地域と自然を、ひとつひとつ「むすぶ旅」、「こころ、むすぶ東北物語」として紹介されていた。

8月11日（日）AM11時30分から伊里前福幸商店街を会場に「結まーる、あげえポストのたびまつり」として、歌津復興夏まつりが開催された。

第1部では第1回スポーツめんこ大会、PM1時から、第2部オープニングセレモニーがあり、第3部にメインの「ポストくんおかえりコンサート」で、まきのめぐみ・BEGINの他に魚竜太鼓など多くのアーティスト・フラガールの出演で行われた。第4部の「LIGHT UP NIPPON 2013」では、1500個のバルーンに願いを込め、夕暮れの大空にはなされ、その後花火の打ち上げが行われた。

ポストくんと福島県いわき市ハワイアンズの共演、歌津の子供たちが書いた言葉をもとにBEGINが沖縄の仲間と歌を作った。また、まきのめぐみさんはラジオの放送で歌津中学校吹奏楽部と共演し「花は咲く」をコラボした事を伝え、その生徒さんの一人が同級生の娘さんだった事に驚いたと、歌津夏まつりの一コマを話していた。

夏まつりで
伊里前福幸商店街賑わう

1年9ヶ月の間、太平洋を彷徨い南の沖縄西表島に歌津のポストが流れ着いた。そのポストの「引き渡し式」も行われ、「ポストが結んだ心の輪」として大きな役目をはたした。

22号よりつづく

がんばって下さい、また来ます（平成の森仮設）

7月14日の平成の森集会所へは開会時間を30分も遅れてしまったものの、50人を超える皆さんが待っていてくれた。5人の方々が順番に手品を披露すると「え～」「なんで」と皆さんの不思議をさそっていた。本からアメ玉を出す手品では子供たちが目を丸くして驚いていた。

15日は南方の仮設での公演は10時からで60人余りの皆さんが、今か今かと公演を待っていてくれた。2人の方が手品に参加され、軽妙な言葉のやり取りに会場は笑いに包まれた。最後には「がんばってください」の垂れ幕に、南三陸町の皆さんと長野県飯島町のマジッククラブの皆さんの出会いと交流が、すばらしいものとなったと感じた瞬間だった。帰りには、ジャガイモ5個入りのレジ袋を手に「元気をもらいました」と話してくれた。

宮川自治会長も手品に参加

飯島町のクラブメンバーは歌津の民宿さんにお世話になり、防災庁舎前で線香をたむけ、公演と南三陸町へ支援と慰問に感謝の言葉を贈りたい。

おかげさまで営業を再開いたしました

残暑お見舞い申し上げます

民宿コクボ荘移転再開のお知らせ

想像を絶する三陸沿岸を襲った大津波から二年六ケ月が過ぎようとしている中で、皆様方の生活も少しの落ち着きを取り戻しつつある事と思います。町も復旧から復興へと再建に今、一歩ずつ進んでいます。

さて、長須賀海岸の目の前にあった民宿コクボ荘も浜辺の砂と一緒に建物の基礎も全てが流失してしまいました。この度地域のご理解とご協力により、何とか再開の運びとなりました。

今後とも震災以前同様のお引き立てとご指導を賜りますよう、宜しくお願い致します。

ひまわりのような笑顔を皆さんと

民宿
コクボ荘
南三陸町歌津字小長柴60
電話 0226（36）2245

ふるさと南三陸町の再建を

848名の御霊に誓う

25年度「南三陸町戦没者追悼式」が8月24日アリーナで開催された。

日清から太平洋戦争の戦没者848名（志津川330名、戸倉161名、入谷126名、歌津231名）の御霊に多くの来賓から追悼の言葉と、被災地南三陸町のふるさと再建を誓った。

南三陸町遺族会の西城会長は、「御先祖御精霊に震災復興をお願いし、被災者遺族は世界の平和を祈っている」と語った。

未来への教訓

大津波の記憶を風化させない

平成25年（2013年）
～ 地元報道より ～

6月の出来事

◆折り鶴たき鎮魂

南三陸町歌津伊里前地内の国道45号沿いに飾られていた折り鶴のおたき上げが6月1日、伊里前復興商店街で行われた。

折り鶴はボランティアと地元民で組織する歌津応援倶楽部が取り組んできた「日本全国の折り鶴プロジェクト」で製作された物で、海外からも届けられ、最終的には約15万羽になった。

この日、のり面から撤去された折り鶴は同商店街に集められ、住民らが点火。震災犠牲者の鎮魂と早期復興を願った。

◆鉄骨落下の恐れ 安全対策実施

南三陸町の防災対策庁舎に6月3日、柵が設けられ、人が近づき過ぎないようロープを巡らし立ち入り禁止処置がとられた。

庁舎は観光客らが連日訪れ、玄関付近に設けられた祭壇で手を合わせている。鉄骨が垂れ下がっている箇所も見られたため、けがをしないように安全対策が施された。祭壇は柵の外へと移動した。

◆ふるさと学習会 6年ぶりに再会

南三陸町教育委員会は、町内5小学校の6年生を対象にした「ふるさと学習会」を6年ぶりに再会させた。参加者の減少などにより19年を最後に開かれていなかった。6月4日には児童110人がバスで町内を回り町の歴史や復興の様子なに理解を深めた。

◆自転車マナー守って

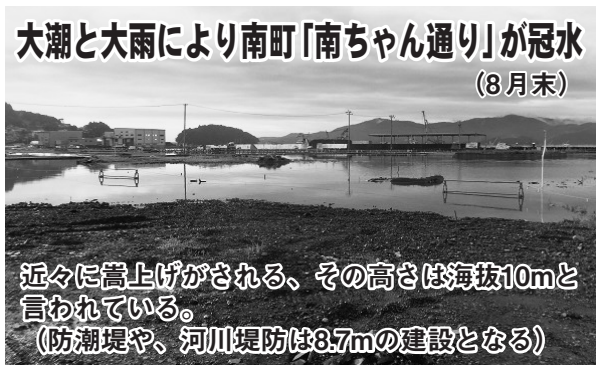
南三陸署管内で、県警の自転車安全利用指導員の活動がスタートした。この事業は震災後に増加した自転車利用者のマナー順守を啓発するのが目的で、指導員に委嘱された4人が主要交差点でプラカードを掲げながらの見回りや、仮設住宅などを巡回しての事故防止啓発活動を行う。

◆新たな生コン工場完成

南三陸町歌津長柴地内に気仙沼地区生コンクリート協同組合の出資で新たな生コンクリート製造工場が建設された。復興事業による生コン不足を解消するためで、今後も2～ 3基建設する予定という。6月12日には現地で安全祈願祭と竣工式が行われ、国、県、町、組合関係者ら約50人が出席した。

◆学生が子供支援イベント

東北学生震災復興支援団体「All for Tohoku」によるイベント「みんなdeつくる みんなのあそびばin南三陸」が6月15日、南三陸町立伊里前小学校で開かれた。この日は小学生23人が参加し、保護者、学生たちと一緒にフットサルや大縄跳びなどを楽しんだ。



戸倉の波伝谷の工場二階にあった教室が、2013年3月の津波で流失してしまった。震災後に一定の落ち着きをみせた頃、塾生の子供たちの親から、ぜひ、書道塾を再会して下さいとの要望を受けた。

塾そして工場の再建の場所を探し、登米市横山に復興教室として、「小山書道塾」を震災の年の9月には立ち上げる事ができた。昭和50年に開熟し多くの塾生を輩出し続けてきた。通い続けた塾生の更なる書道の向上の為に再建を図ってきたと、指導者の小山光夫さんは話す。

そして今回の京都左京区の「興譲館」の、書道段位審査会があり、塾生の大多数が、賞を受賞し段位取得となった。戸倉小中の塾生は多くが住む場所を失って、全て流失してのどん底からの結果と大いに称賛したい。　**〔塾生募集中〕**

塾生の入賞と級段位取得結果

・小山明日香	戸中1年	観峰賞	(準6段)
・佐々木暁美	戸中1年	観峰賞	(準6段)
・佐々木龍斗	戸中1年	観峰賞	(5段)
・阿部　成美	戸中2年	観峰賞	(準7段)
・小山　七海	戸中2年	観峰賞	(準7段)
・小山　美里	戸中2年	観峰賞	(準5段)
・三浦　千裕	戸中2年	観峰賞	(準6段)
・須藤　未帆	戸中3年	観峰賞	(準5段)
・西條　柚香	戸中2年	観峰賞	(7段)
・金野　琉華	戸中2年	金	(準6段)
・小林岬太郎	戸中1年	金	(3段)
・阿部巴瑞樹	戸小5年	金	(3段)
・阿部　美幸	戸小5年	金	(2段)
・三浦和佳子	戸小3年	銀	(初段)
・小林　汐樹	戸小5年	銀	(2段)
・三浦　志穂	戸小5年	銀	(初段)
・小山　咲花	戸小2年	銅	(7級)
・佐藤　真樹	戸小3年	銅	(8級)
・佐々木　俊	戸小4年	銅	(2級)
・三浦　孝秀	戸小5年	銅	(1級)

◆全仮設団地で訓練

南三陸消防署は本年度、町内すべての仮設住宅団地で火災発生時に備えた訓練を行う。

4月末に戸倉中学校仮設で行ったのに続き、6月16日には西戸仮設で実施。入居者ら約20人が参加しバケツリレーや水消火器での初期消火訓練などを行って万一に備えた。

◆有志で防犯パト隊

南三陸町戸倉地区防犯パトロール隊が結成された。南三陸地区防犯協会戸倉支部が震災の影響で活動を休止せざるを得なくなったため、自分たちで地域の安全を守ろう―と有志29人によって立ち上げた。7月から青色回転灯装着車両（青パト）を使い地区内を巡回するほか、子供たちの通学、下校を見守ったり、交通事故の抑止効果を狙い国道を走ったりする。

戸倉小学校「バス停留所」看板設置

毎朝、戸倉荒町「ワイヤープロセス」さんの入口に戸倉荒町地区の小中学校の児童・生徒が7時20分頃に集り、「通学バス」に乗る。

朝夕の通勤時間帯になると、被災地への大型トラックや労務者の車の列が続き、45号線の横断が危険となっている。警察署や地区交通安全協会、そして学校、地区PTAの皆さんに、県の道路管理業務所が加わり、安全通学への対策を話し合った。

◆入谷打ち囃子練習開始

南三陸町立入谷小学校で地域に古くから伝わる「入谷打ち囃子」の練習が6月20日から始まった。

入谷打ち囃子は江戸中期から約250年以上に渡り地域に伝わっており、初めて参加した4年生は、上級生のアドバイスを受けながら真剣な表情で取り組んでいた。

◆若手が洪水に備える

南三陸消防署の水防訓練が6月24日、ベイサイドアリーナ敷地内で行われた。この日は1，2年目の若手消防士5人が参加し、洪水による土手決壊の想定で、「土のうの積み上げ」「木流し」「シート張り」を行い、洪水災害への対処法を確認した。

◆安全走行など指導

志津川高校のバイク通学生を対象にした実技講習会が6月25日、南三陸町志津川の旧小森講習所で開かれた。

バイク通学生71人が参加し、署員、町交通指導隊などから安全運転について指導を受けた。

◆読み聞かせ再開

南三陸町図書館で6月25日、絵本や紙芝居を読んで聞かせる「おはなしでてこい」が開かれた。今回は3組の親子が参加し、子供たちはかわいらしい動物の絵や情感たっぷりの昔話に聞き入っていた。

◆温かみのある繭細工

7月7日の「七夕」を前に、南三陸町入谷のYes工房で「たなばたたま」が製作されている。織姫とひこ星が天の川で出会う場面が表現され、手作りで温かみのある作品になっている。

志津川高等学校

平成２５年度

同窓会総会

日時　９月２１日（土）午後２時

会場　南三陸プラザ（天王山135－１）

会費　３,０００円（新会員無料）

―― 問合せ 同窓会事務局 ――

TEL 0226（46）3643

被災地にあり厳しい環境で頑張る志津川高校のわが後輩たちは私の誇りです。

多くの同級生が集まり、「志高」を応援していきましょう。

南三陸プラザで会いましょう。